

WebSAM DeploymentManager Ver6.2

SQL Server 2012へのアップグレード手順書

—第 1 版—

改版履歴

版数	改版日付	改版内容
1	2013/08/28	新規作成

目次

1. 使用しているデータベースをSQL Server 2012へアップグレードする手順.....	5
2. SQL Server 2012にデータベースを構築する手順.....	7
2.1. データベースの作成.....	7
2.2. DPMサーバのインストール.....	7
3. アンインストール.....	8

商標について

- ・ WebSAMIは日本電気株式会社の登録商標です。
- ・ Microsoftは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

はじめに

本書は、WebSAM DeploymentManager Ver6.2(以降、DPM)で使用しているデータベースをSQL Server 2012へアップグレードする手順、およびSQL Server 2012にDPMで使用するデータベースを構築する手順について説明します。

注意

使用しているデータベースをSQL Server 2012へバージョンアップ/エディションアップする場合は、以下の両方の条件を満たしている必要があります。

- ・DPM Ver6.2で対応しているSQL Serverのバージョン/エディションであること。
- ・アップグレード先となるSQL Server 2012の該当エディションへアップグレードパス(以下に記載)があること。
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143393.aspx>

ヒント

- DPM は、管理対象マシンの情報などの管理用に Microsoft 社が無償で提供している Microsoft SQL Server 2012 Express を同梱しています。(同梱内容については、「ファーストステップガイド 3.2.1 システム要件」を参照してください。) DPM サーバと同一マシン上に SQL Server 2012 Express をインストールする場合は、「インストールガイド 2.1 DPM サーバをインストールする」を参照してください。 DPM サーバのインストールと一緒に SQL Server 2012 Express をインストールできます。
- 本書で説明しているインストール手順以外は、「インストールガイド」を参照してください。以下の製品サイトから、最新版を入手できます。
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/>
- SigmaSystemCenter、VirtualPCCenter に同梱している DPM を使用している場合は、以下の SigmaSystemCenter の製品サイトも参照してください。
<http://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/>

1. 使用しているデータベースを SQL Server 2012 へアップグレードする手順

本章では、使用しているデータベースをSQL Server 2012にアップグレードする手順について説明します。

注意

アップグレード前にMicrosoft社のページ(以下)を参照して、システム要件を満たしていること、注意事項などを確認しておいてください。

- ・バージョンをアップグレードする場合
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267.aspx>
- ・上位エディションにアップグレードする場合
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc707783.aspx>

(1) データベースがインストールされたマシンに、管理者権限を持つユーザでログオンします。

注意

Windows Server 2012/Windows 8の場合は、必ずAdministratorユーザでログオンして、インストールしてください。

(2) データベースサーバ上にデータベースを構築している場合は、本手順は必要ありませんので(3)へ進んでください。DPM サーバと同一マシン上にデータベースを構築している場合は、「スタート」メニューから「管理ツール」→「サービス」を選択し、「DeploymentManager」で始まる名前のサービスをすべて停止します。

(3) Microsoft 社のページ(以下)を参照して、アップグレードを行ってください。

- ・バージョンをアップグレードする場合
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267.aspx>
- ・上位エディションにアップグレードする場合
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc707783.aspx>

注意

- x64 OS上で使用しているSQL ServerのExpressエディション(x86)をSQL Server 2012 Expressにアップグレードする場合は、SQL Server 2012 Expressのインストーラは、MicrosoftダウンロードセンターからSQLEXPRESS_x86(x86/x64両方のOSへインストールできるもの)を使用してください。
また、インストーラを実行する際は、コマンドプロンプトで「/X86」オプションを付けて実行してください。
- 「SQL Server インストールセンター」の設定内容については、以下に注意してください。
 - 「オプション」画面:「プロセッサの種類」で"x86"を選択してください。
(x64 OS上のSQL Server(x86)をSQL Server 2012にアップグレードインストールする場合のみ)
 - 「インスタンスの選択」画面: DPMのインスタンスを選択してください。
- アップグレードインストール時に以下のメッセージが表示された場合は、下記に記載の[対処方法]を実施してください。

[メッセージ]

次のエラーが発生しました:

パス 'C:\Program Files\Microsoft SQL Server\110\License Terms\

SQLServer2012(SP1)_License_ENT_1041.rtf'へのアクセスが拒否されました。

[再試行] をクリックしてやり直すか、[キャンセル] をクリックしてこの操作を取り消し、セットアップを続行してください。

[対処方法]

上記のメッセージに表示されたファイルのプロパティを表示して、属性の「読み取り専用」チェックボックスのチェックを外してください。その後、「再試行」をクリックして、アップグレードを続行してください。

- (4) データベースサーバ上にデータベースを構築している場合は、本手順は必要ありません。
DPM サーバと同一マシン上にデータベースを構築している場合は、(2)で停止したサービスをすべて開始します。

以上で、SQL Server 2012へのアップグレードは完了です。

2. SQL Server 2012 にデータベースを構築する手順

本章では、SQL Server 2012をインストール済みのマシンにDPMサーバ、およびデータベースを構築する手順について説明します。

ヒント

データベースサーバ(SQL Server 2012をインストール済みのマシン)上にDPM用のデータベースを構築し、別のマシン上にDPMサーバをインストールする場合は、「インストールガイド 2.1 DPMサーバをインストールする」、および「インストールガイド 付録 D データベースサーバを構築する」を参照してください。

2.1. データベースの作成

データベースの作成手順について説明します。

- (1) データベースを作成するマシンに、管理者権限を持つユーザでログインします。

注意

Windows Server 2012の場合は、必ずAdministratorユーザでログオンして、インストールしてください。

- (2) Microsoft 社のページ(以下)を参照して、データベースを作成してください。

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143219.aspx>

注意

「SQL Server インストールセンター」の設定内容については、以下に注意してください。

- ・「機能の選択」画面:「データベース エンジン サービス」と、「SQL Server レプリケーション」にチェックを入れてください。
- ・「インスタンスの構成」画面: インスタンス名(任意)を入力してください。
- ・「サーバーの構成」画面:「SQL Server Browser」のスタートアップの種類を「無効」に設定してください。
- ・「データベース エンジンの構成」画面:「サーバーの構成」タブで、以下の設定を行ってください。
 - 「認証モード」は、「Windows 認証モード」を選択してください。
 - 「SQL Server 管理者の指定」は、「現在のユーザーの追加」ボタンをクリックして指定してください。

- (3) コマンドプロンプトを起動して、下記コマンドを実行します。
(以下のコマンドは、表記の都合上2行で記載していますが、1行で入力してください。)

```
SQLCMD.EXE -E -S "¥ インスタンス名" -Q "alter server role [sysadmin] add member [NT AUTHORITY¥SYSTEM]"
```

例)

```
SQLCMD.EXE -E -S "¥DPMDBI" -Q "alter server role [sysadmin] add member [NT AUTHORITY¥SYSTEM]"
```

2.2. DPM サーバのインストール

「インストールガイド 2.1 DPMサーバをインストールする」を参照して、DPMサーバをインストールしてください。

注意

手順(9)-2)では、インストール済のSQL Serverのアーキテクチャ、およびインスタンス名を指定してください。

以上で、データベースの構築は完了です。

3. アンインストール

本章では、前章までの手順で構築した環境から、データベースのみをアンインストールする手順について説明します。データベース以外のコンポーネントについては、「インストレーションガイド」を参照してください。

注意

- データベースをアンインストールする前に以下を参照して、注意事項などを確認しておいてください。
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143412.aspx>
- データベースをアンインストール後に DPM サーバをアンインストールすると、以下の画面が表示されます。
動作上問題ありませんので、「OK」ボタンをクリックして、アンインストールを進めてください。



ヒント

- DPM サーバのアンインストールと、DPM サーバと同一マシンに構築したデータベースと一緒にアンインストールする場合は、「インストレーションガイド 4.2 DPM サーバをアンインストールする」を参照してください。
- データベースサーバ上にデータベースを構築している場合は、「インストレーションガイド 付録 D データベースサーバを構築する」の「■ データベースをアンインストールする」を参照してください。

(1) DPM サーバをインストールしているマシンに、管理者権限を持つユーザでログオンします。

注意

Windows Server 2012の場合は、必ず Administrator ユーザでログオンして、アンインストールしてください。

(2) Microsoft 社のページ(以下)を参照して、インスタンスをアンインストールしてください。
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143412.aspx>

(3) 以下フォルダ配下のファイルをすべて削除してください。

- ・新規に SQL Server 2012 をインストールした場合
C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL11. **インスタンス名**¥MSSQL¥Data
- ・SQL Server 2008/SQL Server 2008 R2 から SQL Server 2012 へアップグレードインストールした場合
C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL10_50.DPMDBI¥MSSQL¥Data
- ・SQL Server 2005からSQL Server 2012へアップグレードインストールした場合
C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL.x¥MSSQL¥Data
※xには、インスタンス数の数値が入ります。

以上で、データベースのアンインストールは完了です。